

なごみ

第3号



通所リハビリ利用者：佐々木明子 様 作



済生会介護老人保健施設高砂ケアセンター

理念

**「たいせつな、ひとりひとり」
～利用者・家族、ひとりひとり。職員、ひとりひとり。～**

<事業内容>

- ・介護老人保健施設高砂ケアセンター
- ・介護療養型保健施設高砂ケアセンター
- ・たかさごクリニック
- ・高砂訪問看護ステーション
- ・たかさご相談支援事業所

〒695-0011 島根県江津市江津町1110-15

TEL：0855-52-5100

FAX：0855-52-3882

URL：http://www.gotsu-takasago.jp

※高砂ケアセンター広報委員会

たかさご納涼まつり

7月25日(金)



☆迫力ある神楽に皆さん夢中☆



模擬店も無事完売しました！



ステキな笑顔がたくさんありました

今年も暑い中、たくさんの方に来場いただき、とても盛り上がりました。
毎年恒例の、神楽に始まり、最後の花火まで皆さんに楽しんでいただきました。

江の川パレード

8月16日(土)



毎年恒例の江の川パレードに参加しました。
曇り空の中、多くの団体が参加されて、当施設からも職員25名で
元気よく江津音頭を踊りました。

一般棟(1階)

認知症専門棟(3階)



なーんと
うまげに
しんさるなあ



利用者様が楽しい時間を過ごす事ができるように、
毎月ボランティア様に来ていただいています。
大正琴、銭太鼓、ダンス、傘踊りなど、懐かしい歌や踊りを
披露していただき、いつも大盛況です。

通所リハビリテーション

ジャガイモ掘り



じゃがいもを植えてから、収穫時期を迎え利用者の方と収穫をしました。天気も良く、収穫には絶好の日でした。思ったより多く収穫でき、利用者の方も喜ばれていました。収穫しじゃがいもは、ふかして食べていただきました。「おいしいよ!!」など嬉しい声も聞こえ、楽しいおやつとなりました。

七夕



7月7日の七夕に向けて、利用者の方々に短冊に願い事を書いてもらいました。短冊には「リハビリをして元気に過ごしたい」、「家族が健康に暮らせませすように」など様々な願い事が書かれていました。また、七夕飾りも作っていただき飾り付けました。職員一同皆さまの願い事が叶うように、心から願っています。

料理教室!?

利用者の方が家の畑で育てられた、かぼちゃを、通所に持って来られました。キッチンで利用者の方が自分で調理され、みなさんでいただきました。調理も最初から最後までされ、慣れた手付きでした。職員も見習うところもありました! 他の方も見学され、いい刺激になったのではないのでしょうか!!



支援相談科について

支援相談科には4名の相談員がいます。介護老人保健施設（1階・3階にそれぞれ1名）、介護療養型老人保健施設（2階に1名）、相談支援事業所に1名の相談員が配置されています。

介護（療養型）老人保健施設の相談員は、入所・退所の相談窓口となり、ご家族の方、ケアマネジャーの方、病院の相談員の方と入所・退所の調整等を行っています。



相談支援事業所(たかさご相談支援事業所)は、高齢者福祉分野に特化した高砂ケアセンターの中であって、唯一、障がいを抱えた方の支援を行っています。業務内容は大きく分けて、『計画相談支援』と『一般相談支援』ですが、他多岐に渡ります。浜田圏域（浜田市、江津市を併せた医療圏域をいいます）には、委託または指定の相談支援事業所が、当事業所を含め11事業所あります（当事業所は委託事業所です）。現行では、障がい福祉サービスの利用を希望される場合、相談支援事業所の相談支援専門員が作成した“計画”が必要です。どの相談支援事業所を指定されるかは利用されるご本人の希望による場所ですので、各市町の障がい者福祉の担当係にご相談ください。

今後の行事予定

- なでしこプラン活動（～健康チェック・健康相談・介護相談等～）

日程：9月19日(金)・10月17日(金)・11月21日(金)・12月19日(金)

時間：10：00～12：00

場所：高砂ケアセンター 大会議室

- 敬老会

日程：9月24日(水)

場所：3階認知症専門棟

- 文化祭

日程：11月29日(土)

場所：高砂ケアセンター内各所

時間：10：00～15：00



編集後記

無事に第3号「なごみ」が完成し、一安心しています。

私事ですが、小学校6年になる自閉症の息子と一緒に毎週土曜日に某スイミングスクールの障害コースへ通っています。この教室は、まず、楽しんでもらいます。泳げるようになればよいですが無理には泳がせることはしません。息子は、小学校1年のときから通っていますが、最初は、プールに入ることさえ嫌がり、プールサイドを走り掛けていました。通い続けることでプールに入るようになってからは、顔を水につけることやバタ足などができるようになり最近では自由形が10メートル程泳げるようになりました。障害があるから何もできないと誤解している人が少なくありません。しかし、どんなに障害を持っていても、人の助けがあれば何でも出来ることを、このスイミングスクールで教えられました。

(N・F)